

森山大道 写真展「Ango」

作家名：森山 大道

会場：gallery 176（ギャラリー イナロク）

大阪府豊中市服部元町1-6-1／阪急宝塚線 服部天神駅(梅田から11分)下車 徒歩1分

会期：2018年8月31日(金)～9月30日(日)

休廊日：9月5日(水)、6日(木)、12日(水)、13日(木)、19日(水)、20日(木)、26日(水)、27日(木)

開廊時間：13:00～19:00

協力：森山大道写真財団 | 写々者 | マッチアンドカンパニー | POETIC SCAPÉ

作品説明：

gallery 176では、2018年8月31日(金)より9月30日(日)まで、森山大道 写真展「Ango」を開催いたします。

数多く発表されている坂口安吾の著作の中でも傑作とされる『桜の森の満開の下』と、森山大道が撮りおろした漆黒の桜の写真を、デザイナーの町口覚が“交配”させ一冊の書物を生み出しました。その出版記念として、同書に収録された森山大道の写真作品を展示いたします。



photo by Daido Moriyama

『Daido Moriyama: Ango』について

グラフィックデザイナー／パブリッシャーである町口覚が、日本の写真家の写真と、日本の近現代文学を一冊の本という空間の中で交錯させ、新しい表現力をもつ“書物”を生み出すプロジェクト。第一弾～第三弾の森山大道、野村佐紀子を迎えての第四弾『Sakiko Nomura: Ango』に続くシリーズ五弾目となる。

1947年に発表された『桜の森の満開の下』は無頼派の巨星、坂口安吾の著作の中でも『墮落論』や『白痴』と並ぶ傑作とされる。その名作と森山大道が撮りおろした写真を、町口覚が新しく編み造本した。『Daido Moriyama: Ango』は英語版が2017年11月のパリフォトで先行発売され大反響を呼んだ。待望の日本語版は2018年1月に発売。

関連書籍

写真集『Daido Moriyama: Ango』（日本語版・英語版）

言葉：坂口安吾 | 写真：森山大道 | 造本：町口覚

プロジェクトディレクター：大西洋

判型：240mm x 165mm（B5判変形） | 188頁 | 写真点数：57点

上製本（スリーブケース入り）

定価：5,800円＋税

*会場で販売する日本語版、英語版にはサインが入っています。



日本語版



英語版

関連イベント

対談：森山大道 × 町口覚

開催日：2018年9月22日(土)

開催時間：調整中

料金：調整中

定員：30名

*その他関連イベント開催予定（調整中）

お問い合わせ先

森山大道 写真展「Ango」に関するご質問、メディア掲載用画像の提供等のお問い合わせは、下記までお願い致します。

gallery 176（ギャラリー イナロク）

担当：木村準

tel：050-7119-9176

e-mail：info@176.photos